

こちらは数ページのお試し読み版です。

30分で学べる全45ページ
UI改善で大切な優先順位を学ぶ

UI改善の基礎

**一度にたくさん情報を見ても、
なかなか伝わらない**

処理能力にも限界があるので、**楽したい**

- 人間が新しい情報を得るときの脳の働きを認知負荷と呼ぶ。
- 人間の**脳の処理能力には限界**がある。
- 余計な認知負荷は、相手の頭の処理能力を使わせるだけで、
情報を理解させるうえでは何の役にも立たない。

認知負荷

知覚負荷

考えたり、記憶する

どれを選択すれば次の画面へ行くのだろうか

視覚負荷

情報を見つける、
気にとめる

トップページの画像、
ちよろちよろ動いてるな

動作負荷

機器の操作

マウスでポインタを動かす

UI改善で大切なことは…

わかってほしいことを

- 抽出して
- それにフォーカス (集中) するために

優先順位をつけて伝える

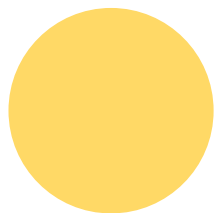
優先順位を
つけるとき、

考えること

4つのデザイン構成要素を操り、 優先順位をつけていく



形



色



レイアウト
(配置)



動き
(時間)

優先順位をつけることは、 編集すること



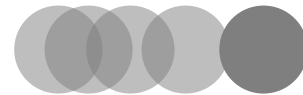
形



色



レイアウト
(配置)



動き
(時間)

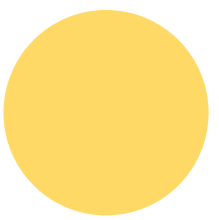
グラフィック・平面共通

Web・アプリ・動画

注意の向けられ方 (視覚負荷) が異なることにも着目する



形



色



レイアウト
(配置)



動き
(時間)



1.レイアウト / 配置





認知的負荷を減らすテクニック

レイアウトの4原則

近接



abcdefg

整列



反復

タイトルです

本文はこのような体裁で表現されているのですね。良いですね。

2020.12.12

タイトルです

本文はこのような体裁で表現されているのですね。良いですね。

対比

(コントラスト)

タイトルです

本文はこのような体裁で表現されているのですね。良いですね。

2020.12.12

UI改善のご相談はこちらから

<https://www.members.co.jp/services/consulting/uxro.html>